

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3 誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします

施策 10 安心して医療が受けられるまちにします

担当部(統括部) 保健福祉部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿			平成23年度	平成24年度
特定健診・特定保健指導の普及により、生活習慣病予防が進んでいます。	目標	受診勧奨事業の実施により特定健診の周知が進んでいる	特定健診の周知が進み、受診率が向上している	特定健診の周知が進み、受診率が向上している
	実績			
市民一人ひとりがかかりつけ医を持ち、安心して医療を受けることができます。	目標	市民にかかりつけ医の必要性が認識されてきている	市民にかかりつけ医の必要性や重要性が認識されてきている	市民にかかりつけ医の必要性や重要性が認識されてきている
	実績			
救急医療も含めた広域的医療体制が充実しています。	目標	三島地域で、三島二次医療圏における救急医療体制が検討されている	三島地域で、三島二次医療圏における救急医療体制の考え方を共有し、実現に向け活動している	三島地域で、三島二次医療圏における救急医療体制の考え方を共有し、実現に向け活動している
	実績			
市民や事業者が健康づくりや健診受診を積極的に行うことで、国民健康保険被保険者1人あたりの医療費が増加から減少に変わります。	目標	被保険者一人一人の意識が向上している	被保険者一人一人の意識が向上している	被保険者一人一人の意識が向上している
	実績			
国民健康保険財政の健全化により、安定した保険制度運営が実施されています。	目標	医療費適正化・資格適正化・収納率向上の推進により、国民健康保険財政の健全化が進んでいる	医療費適正化・資格適正化・収納率向上の推進により、国民健康保険財政の健全化が進んでいる	医療費適正化・資格適正化・収納率向上の推進により、国民健康保険財政の健全化が進んでいる
	実績			

実現している姿を確認する指標	実績					平成23年度	平成24年度
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度			
特定健診の受診率	—	26.4%	28.1%	28.8%	目標	58.0%	65.0%
					実績		
特定保健指導率	—	17.0%	16.7%	11.9%	目標	40.0%	45.0%
					実績		
被保険者1人あたりの医療費	261,721円	284,048円	294,095円	307,574円	目標	319,880円	332,180円
					実績		
国民健康保険財政の収支比率	95.5%	91.8%	96.1%	95.3%	目標	95.5%	96.0%
					実績		
					コメント		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
特定健診の周知が進み、受診率が向上している	特定健診の周知が進み、受診率が向上している	特定健診受診率が向上し、特定保健指導を受ける人が増加している	特定保健指導の普及により生活習慣病の予防が進んでいる
かかりつけ医を持つ市民が増加している	かかりつけ医を持つ市民が増加している	多くの市民がかかりつけ医を持っている	多くの市民がかかりつけ医を持っている
三島地域で、三島二次医療圏における救急医療体制の考え方を共有し、実現に向け活動している	三島地域で、三島二次医療圏における救急医療体制の考え方を共有し、実現に向け活動している	大阪府から三島二次医療圏における救急医療体制の方向性が示されている	三島二次医療圏における救急医療体制が充実している
被保険者一人一人の意識が向上している	被保険者一人一人の意識が向上している	被保険者一人一人の健康意識の向上により医療費の増加率が減少している	生活習慣病の予防が進み、被保険者一人当たりの医療費が減少に転じている
医療費適正化・資格適正化・収納率向上の推進により、国民健康保険財政の健全化が進んでいる	医療費適正化・資格適正化・収納率向上の推進により、国民健康保険財政の健全化が進んでいる	国民健康保険財政の健全化が進み、累積赤字が縮小している	国民健康保険財政の健全化が進み、収支均衡により保険制度が安定して運営されている

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
※前期終了年度までの目標値は、平成24年度で策定する次期「特定健診等実施計画」で決定			65.0%
※前期終了年度までの目標値は、平成24年度で策定する次期「特定健診等実施計画」で決定			45.0%
344,480円	356,790円	362,930円	300,000円
96.5%	97.0%	97.5%	100%

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3 誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします

施策 10 安心して医療が受けられるまちにします

担当部(統括部) 保健福祉部

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)		平成23年度	平成24年度
◎特定健診受診率の向上	国民健康保険被保険者の意識調査を行い、適切な受診勧奨を行うことで特定健診受診率の向上を図ります。	計画	年度当初に受診券を一括発送 年度当初に受診券を一括発送 未受診者へのハガキ送付 未受診者へのハガキ送付 市内医療機関へのポスター配布 市内医療機関へのポスター配布 受診券とがん検診のクーポン券を一体化して発送 受診券とがん検診のクーポン券を一体化して発送 平成22年度受診勧奨対象者に対する再勧奨
		実績(成果)	特定健診の5年間の評価をし、平成25年度から5年間の目標を修正
		次年度課題	
◎特定保健指導の充実	特定保健指導を充実し、国民健康保険被保険者の健康状態に応じた適切な保健指導を行うことで生活習慣病予防を進め、医療費の抑制を図ります。	計画	特定保健指導の案内方法やプログラムを工夫(個別対応や講座の選択性など) 特定保健指導の5年間の評価をし今後の目標を修正 国民健康保険の高額医療費状況と健診結果から取り組む課題を分析 分析した課題への対応
		実績(成果)	
		次年度課題	
◎地域医療システムの充実	一次医療機関として、かかりつけ医制度を推奨します。さらに、保健所、医師会など関係機関との有機的な連携のもと、病院と診療所、病院間の連携を含めて広域的な医療体制の体系整備を図ります。	計画	医療機関等にかかりつけ医制度のチラシを設置 健康講話等でかかりつけ医制度の必要性や重要性を周知。かかりつけ医についての市民の意識状況を把握 健康まつり等で地域連携クリティカルパスの啓発チラシを設置 健康講話等で地域連携クリティカルパスについて周知 小児救急電話相談事業(#8000)、救急安心センターおおさか(#7119)を年間日程表に掲載 乳幼児健診等で小児救急電話相談事業(#8000)、救急安心センターおおさか(#7119)の啓発・周知
		実績(成果)	
		次年度課題	
◎医療情報システムの充実	一次・二次・三次医療機関、専門医療機関などの医療施設や、医療制度システムなどについて情報提供方法や内容を充実します。	計画	インターネットを活用して検索・閲覧できる大阪府医療機関情報システムを市ホームページに掲載し、周知 インターネットを活用して検索・閲覧できる大阪府医療機関情報システムを市ホームページに掲載し、周知 休日小児急病診療所、一次・二次・三次医療機関の一覧表を妊娠届出時に配布し、周知 休日小児急病診療所、一次・二次・三次医療機関の一覧表を妊娠届出時に配布し、周知
		実績(成果)	
		次年度課題	

第2次実施計画期間				平成24年度事業			
平成25年度	平成26年度	前期終了年度 平成27年度	後期終了年度 平成32年度	事業名	担当課	予算(千円)	
年度当初に受診券を一括発送	年度当初に受診券を一括発送	年度当初に受診券を一括発送	年度当初に受診券を一括発送	特定健康診査等事業	国保年金課	65,456	事業費計(千円)
未受診者へのハガキ送付	未受診者へのハガキ送付	未受診者へのハガキ送付	未受診者へのハガキ送付				65,456
市内医療機関へのポスター配布	市内医療機関へのポスター配布	市内医療機関へのポスター配布	市内医療機関へのポスター配布				
受診券とがん検診のクーポン券を一体化して発送	受診券とがん検診のクーポン券を一体化して発送	受診券とがん検診のクーポン券を一体化して発送	受診券とがん検診のクーポン券を一体化して発送				
特定保健指導実施機関を増やし、参加しやすい環境整備を整備	特定保健指導の参加方法に選択性を導入、個別指導の充実	特定保健指導の実施	特定保健指導と医療費の分析を実施	特定健診・特定保健指導事業	保健福祉課	1,490	事業費計(千円)
実施項目の評価を行い、課題を検証しながら実施	実施項目の評価を行い、課題を検証しながら実施	実施項目の評価を行い、課題を検証しながら実施	実施項目と医療費の評価				1,490
健康講話等でかかりつけ医制度の必要性や重要性を周知	健康講話等でかかりつけ医制度の必要性や重要性を周知	健康講話等でかかりつけ医制度の必要性や重要性を周知	かかりつけ医についての認識や受診状況を把握分析	休日小児急病診療所運営事業	保健福祉課	25,259	事業費計(千円)
健康講話等で地域連携クリティカルパスについて周知	健康講話等で地域連携クリティカルパスについて周知	健康講話等で地域連携クリティカルパスについて周知	利用状況を把握分析				25,259
乳幼児健診等で小児救急電話相談事業(＃8000)、救急安心センターおおさか(＃7119)の啓発・周知	乳幼児健診等で小児救急電話相談事業(＃8000)、救急安心センターおおさか(＃7119)の啓発・周知	乳幼児健診等で小児救急電話相談事業(＃8000)、救急安心センターおおさか(＃7119)の啓発・周知	利用状況を把握分析				
インターネットを活用して検索・閲覧できる大阪府医療機関情報システムを市ホームページに掲載し、周知	インターネットを活用して検索・閲覧できる大阪府医療機関情報システムを市ホームページに掲載し、周知	インターネットを活用して検索・閲覧できる大阪府医療機関情報システムを市ホームページに掲載し、周知	インターネットを活用して検索・閲覧できる大阪府医療機関情報システムを市ホームページに掲載し、周知	休日小児急病診療所運営事業	保健福祉課	25,259	事業費計(千円)
休日小児急病診療所、一次・二次・三次医療機関の一覧表を妊娠届出時に配布し、周知	休日小児急病診療所、一次・二次・三次医療機関の一覧表を妊娠届出時に配布し、周知	休日小児急病診療所、一次・二次・三次医療機関の一覧表を妊娠届出時に配布し、周知	休日小児急病診療所、一次・二次・三次医療機関の一覧表を妊娠届出時に配布し、周知				25,259

まちづくりの目標 4 暮らしにやさしく笑顔があふれるまち

政策 3 誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちにします

施策 10 安心して医療が受けられるまちにします

担当部(統括部) 保健福祉部

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)			平成23年度	平成24年度
◎救急医療体制の充実	市内の救急医療体制を検討するとともに、広域的な視点での体制の充実を図ります。	計画	救急医療検討会で三島二次医療圏における救急医療体制を検討し、報告書を作成	三島保健医療協議会で提案した内容を関係機関と共有し、実現に向け活動
		実績(成果)		
		次年度課題		
○国民健康保険財政の健全化	医療費の適正化をはじめ、資格管理の適正化や収納率の向上に取り組めます。	計画	後発医薬品普及のための差額通知の送付	後発医薬品普及のための差額通知の送付
			レセプト点検の実施	レセプト点検の実施
			居所不明者・社会保険加入者などの調査の実施	居所不明者・社会保険加入者などの調査の実施
			ページー口座振替受付サービスの開始	ページー口座振替受付サービスの実施
			コンビニ収納の準備	コンビニ収納の開始
			コールセンターによる納付の勧奨	コールセンターによる納付の勧奨
		実績(成果)		療養費適正化の推進
		次年度課題		

摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと			平成23年度	平成24年度
特定健診・特定保健指導の充実	保健センターを活用した特定健診・特定保健指導の充実と身近な医療機関での特定健診の充実を図ります。	計画	市内医療機関で土曜・夜間に特定健診を受診できることを周知	過去の特定健診受診勧奨事業を通じて蓄えたノウハウや他市の事例研究などにより、利用しやすい環境整備を推進
		実績(成果)		
		次年度課題		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
三島保健医療協議会で提案した内容を関係機関と共有し、実現に向け活動	三島保健医療協議会で提案した内容を関係機関と共有し、実現に向け活動	三島二次医療圏における救急医療体制が示され、実現に向けて活動	三島二次医療圏における救急医療体制の整備の推進
後発医薬品普及のための差額通知の送付	後発医薬品普及のための差額通知の送付	後発医薬品普及のための差額通知の送付	後発医薬品普及のための差額通知の送付
レセプト点検の実施	レセプト点検の実施	レセプト点検の実施	レセプト点検の実施
居所不明者・社会保険加入者などの調査の実施	居所不明者・社会保険加入者などの調査の実施	居所不明者・社会保険加入者などの調査の実施	居所不明者・社会保険加入者などの調査の実施
ページー口座振替受付サービスの実施	ページー口座振替受付サービスの実施	ページー口座振替受付サービスの実施	ページー口座振替受付サービスの実施
コンビニ収納の実施	コンビニ収納の実施	コンビニ収納の実施	コンビニ収納の実施
コールセンターによる納付の勧奨	コールセンターによる納付の勧奨	コールセンターによる納付の勧奨	コールセンターによる納付の勧奨

平成24年度事業			事業費計 (千円)
事業名	担当課	予算(千円)	
休日小児急病診療所運営事業	保健福祉課	25,259	25,259
賦課徴収事業	国保年金課	24,818	57,804
保健施設事業 (保健衛生普及費)	国保年金課	32,986	

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
過去の特定健診受診勧奨事業を通じて蓄えたノウハウや他市の事例研究などにより、利用しやすい環境整備を推進	過去の特定健診受診勧奨事業を通じて蓄えたノウハウや他市の事例研究などにより、利用しやすい環境整備を推進	過去の特定健診受診勧奨事業を通じて蓄えたノウハウや他市の事例研究などにより、利用しやすい環境整備を推進	過去の特定健診受診勧奨事業を通じて蓄えたノウハウや他市の事例研究などにより、利用しやすい環境整備を推進

平成24年度事業			事業費計 (千円)
事業名	担当課	予算(千円)	
特定健康診査等事業	国保年金課	65,456	